



# 全国がん登録 実務者研修会



届出票について

2022.07.22 広島県がん登録室

- 本日のお話の目的
- 届出対象、及び診断日
- 診断根拠
- 側性
- 備考欄

- 本日のお話の目的
- 届出対象、及び診断日
- 診断根拠
- 側性
- 備考欄

## 全国がん登録の目的（法 第1条）

がん医療の質の向上等、国民に対するがん、がん医療等及びがんの予防についての情報提供の充実その他のがん対策を**科学的知見**に基づき実施する

IARC：国際がん研究機関  
（世界保健機関（WHO）の一機関）

IACR：国際がん登録協議会

### がん情報の収集

- 診断日
- 診断根拠
- 原発部位
- 病理診断
- 形態
- 発見経緯
- 進展度
- 治療など

省令で規定

全国同じ情報を  
収集することが重要！

### 情報の集約

- 同一人物の同定
- 同一腫瘍の集約

IARC/IACRの  
多重がんルール

国際ルールに基づいて  
情報を整理する！

### 情報の集計

- 罹患数/率
- 生存率
- 希少がん
- 小児がん
- など…

国際比較可能な集計を  
することが重要！

- 本日のお話の目的
- 届出対象、及び診断日
- 診断根拠
- 側性
- 備考欄

# 届出票の必要ながんの種類（原発性の悪性新生物その他の政令で定める疾病）

## がん登録等の推進に関する法律

がん登録等の推進に関する法律では、「がん」とは、悪性新生物その他の政令で定める疾病と定義されています（第2条第1項）

また、原発性のがんについて、当該病院等における初回の診断が行われたとき、届け出ることが義務付けられています（第6条）

## その他の政令で定める疾病とは

1. 悪性新生物及び上皮内がん
2. 髄膜又は脳、脊髄、脳神経その他の中枢神経系に発生した腫瘍
3. 卵巣腫瘍（次に掲げるものに限る。）
  - 境界悪性漿液性乳頭状のう胞腫瘍
  - 境界悪性漿液性のう胞腺腫
  - 境界悪性漿液性表在性乳頭腫瘍
  - 境界悪性乳頭状のう胞腺腫
  - 境界悪性粘液性乳頭状のう胞腺腫
  - 境界悪性粘液性のう胞腫瘍
  - 境界悪性明細胞のう胞腫瘍
4. 消化管間質腫瘍

# 届出対象の判断

「診断日」が2016年1月1日以後である

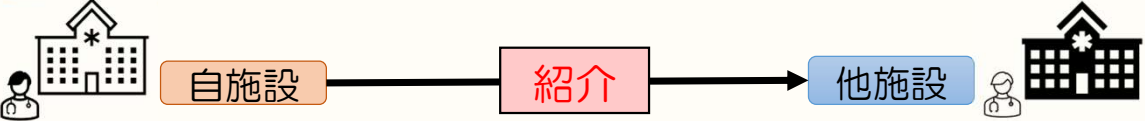

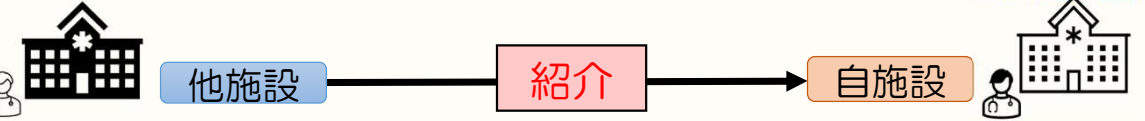
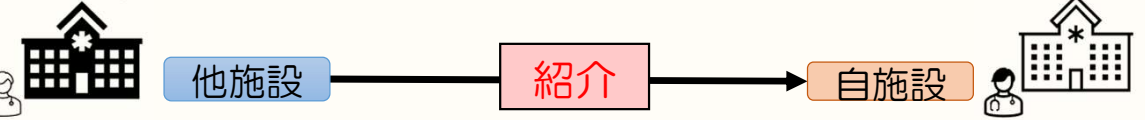

当該がんについて、自施設初診である

これまでに一度もそのがんについて全国がん登録に届出をしていない

その患者に対し、当該がんやそのがんに関連する診断・治療等を行った

がん疑いではなく、確定診断されたがんである

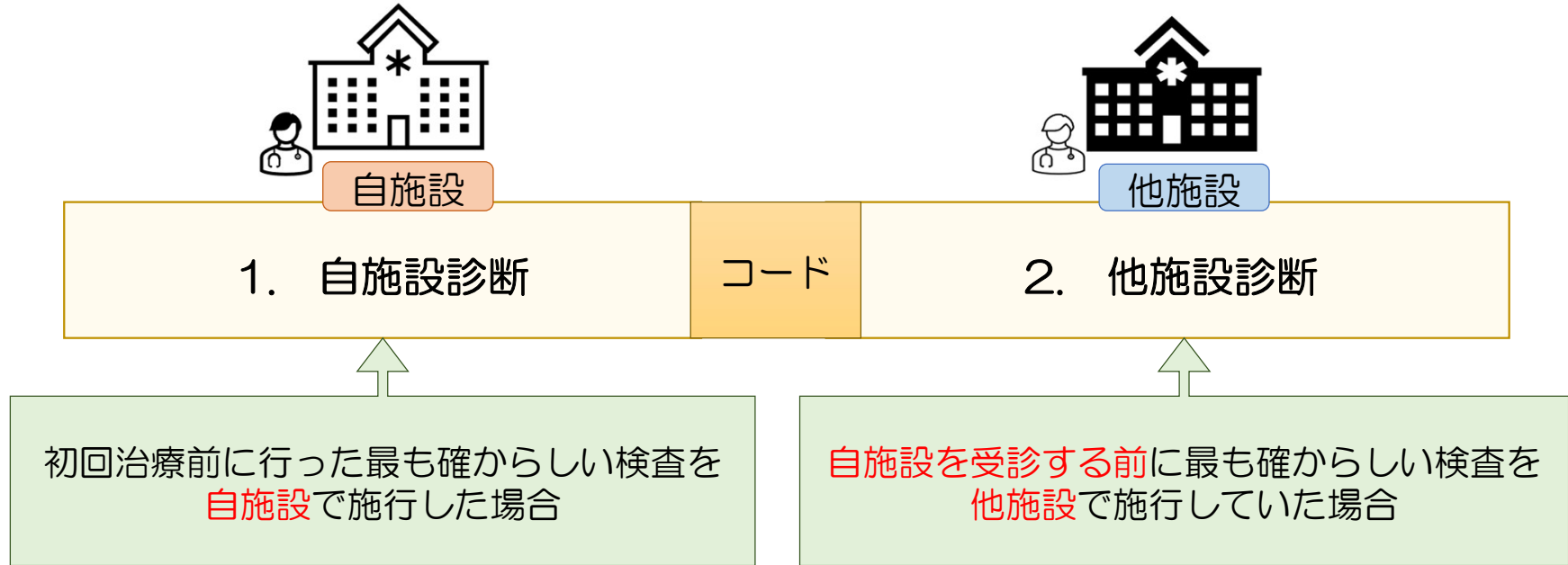
# 届出票を作成するタイミング


診断・治療のパターン	届出票を作成するタイミング
<p>1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 他施設に紹介時</li> <li>• 患者来院中断が明らかになった時</li> </ul>
<p>2. 自施設で初回治療を開始</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 計画された一連の初回治療の終了時</li> <li>• 初回治療方針「経過観察」の決定時</li> </ul>
<p>3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 計画された一連の初回治療の終了時</li> </ul>
<p>4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設を受診</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自施設受診時</li> </ul>
<p>8. その他（剖検で初めて発見されたがん・セカンドオピニオン）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 診断確定時</li> </ul>

※⑫治療施設の項目とリンクしています



# 診断施設について



 自施設、他施設で行った検査を時系列に並べてみて、「最も確からしい検査」が複数回行われている場合は、より早い日に行われた検査を施行した施設を診断施設とする

# 診断日について

⑪ 診断施設が「1.自施設診断」の時は  
初回の治療前に最も確からしい検査を行った日が診断日



## ⑬ 診断根拠

1.	原発巣の組織診 (病理組織診によるがんの診断)
2.	転移巣の組織診 (病理組織診によるがんの診断)
3.	細胞診 (病理組織診ではがんの診断なし)
4.	部位特異的腫瘍マーカー (によるがんの診断)
5.	臨床検査 (画像診断も含む) (によるがんの診断)
6.	臨床診断 (1~5を伴わないもの) (によるがんの診断)
9.	不明

小さい数字が  
最も確かな検査



初診日

5. 画像診断

最も確からしい検査を行った日

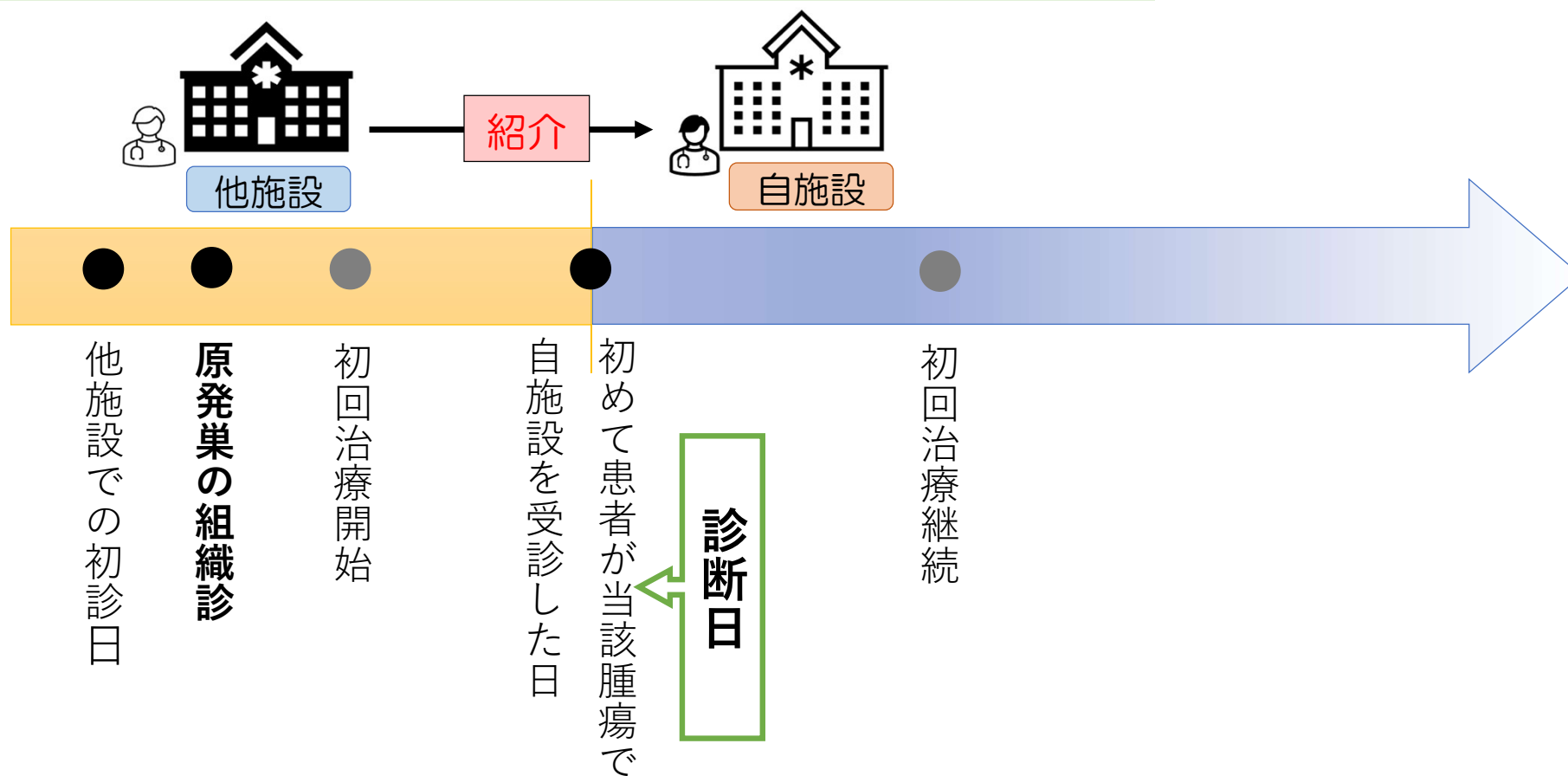
1. 原発巣の組織診

診断日

初回治療開始

# 診断日について

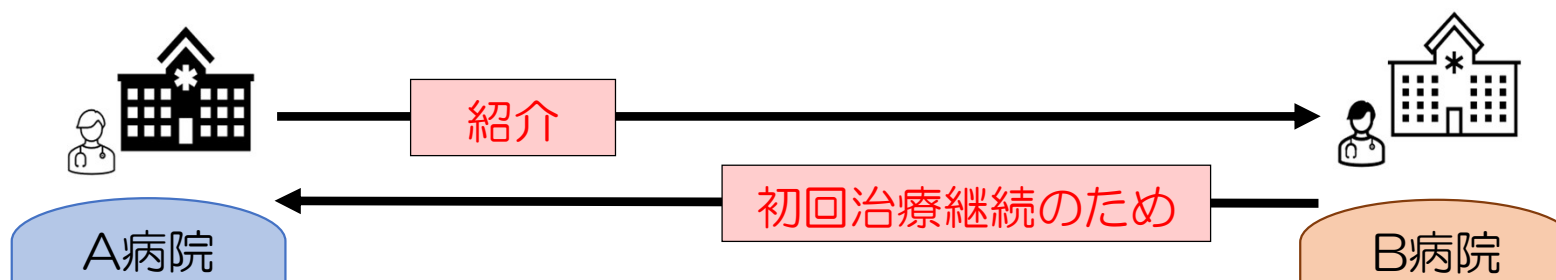
⑪ 診断施設が「2.他施設診断」の時は、  
自施設を初めて受診した日(初診日)が診断日



# 届出対象・届出情報作成のタイミング・診断日について

A病院 で病理組織診にて胃癌確定、B病院 へ紹介、治療のため内視鏡的粘膜下剥離術（ESD）を施行

初回治療継続のため紹介元の A病院 に戻る



胃癌が確定診断したため届出対象である

届出対象  
について

B病院 で胃癌の治療をしているため  
届出対象である

B病院 に紹介した時点の情報で作成する  
※スライド番号8、診断・治療のパターン1参照

届出情報作成  
のタイミング

初回治療終了後に作成する  
※スライド番号8、診断・治療のパターン2参照

B病院 から戻ってきた時の再提出は不要

病理組織診実施日

診断日

紹介を受け、患者が受診した日（初診日）

- 本日のお話の目的
- 届出対象、及び診断日
- 診断根拠
- 側性
- 備考欄

# 診断根拠

1. 原発巣の組織診
2. 転移巣の組織診
3. 細胞診
4. 部位特異的腫瘍マーカー
5. 臨床検査
6. 臨床診断
9. 不明



## 1.原発巣の組織診

原発巣と考えられる部位から、採取された標本の病理組織診により「がん」と診断された場合  
白血病等での骨髄を検体とする検査の結果は、組織診陽性に含める

## 2.転移巣の組織診

転移巣と考えられる部位から、採取された標本の病理組織診により「がん」と診断された場合

## 3.細胞診

病理診断では「がん」の診断なく、以下の検査により「がん」と診断された場合

- 喀痰、尿沈渣、膣分泌物などによる剥離細胞診
- ファイバースコープなどによる擦過／吸引細胞診
- あるいは洗浄細胞診を含む

白血病等での末梢血を検体とする検査の結果は、細胞診陽性に含める

## 4.部位特異的腫瘍マーカー

腫瘍マーカーが陽性の場合（自施設・他施設の実施検査を含む）

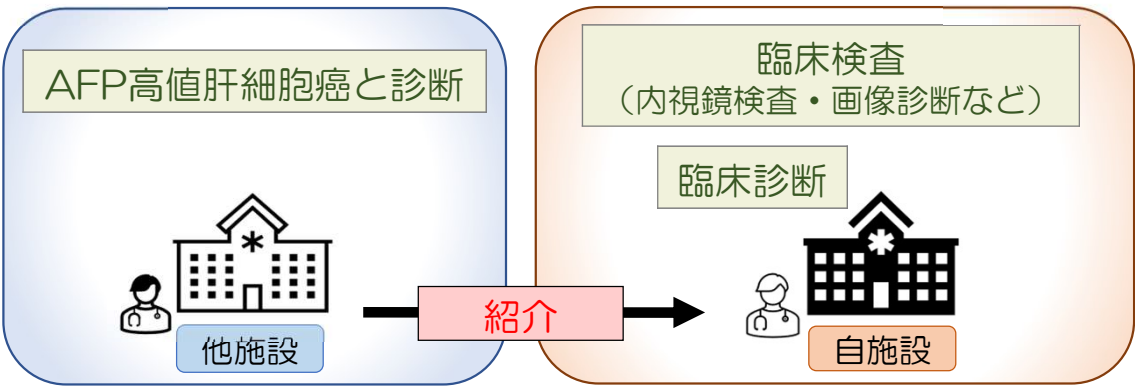
- 肝細胞癌 (8170/3) AFP高値
- 絨毛癌 (9100/3) HCG高値
- 神経芽細胞腫 (9500/3) VMA高値
- ワルデンストレームマクログロブリン血症  
(9761/3) 免疫グロブリン高値



# 他施設の情報について

原則：自施設の情報を届出票に記載してください  
 例外) ⑬診断根拠と⑮発見経緯だけは全経過を通じての情報が登録できます

全経過を通じての情報



全国がん登録届出票①

①病院等の名称	広島県 公益財団法人 放射線影響研究所			
②診療録番号	[ ] (全半角16文字)			
③カナ氏名	シ [ ] (全角カナ10文字)	メイ [ ] (全角カナ10文字)		
④氏名	氏 [ ] (全角10文字)	名 [ ] (全角10文字)		
⑤性別	<input type="checkbox"/> 1. 男性 <input type="checkbox"/> 2. 女性			
⑥生年月日	<input type="checkbox"/> 0. 西暦 <input type="checkbox"/> 1. 明 <input type="checkbox"/> 2. 大 <input type="checkbox"/> 3. 昭 <input type="checkbox"/> 4. 平 <input type="checkbox"/> 5. 令 [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日			
⑦診断時住所	都道府県選択 [ ] (全半角40文字) 市区町村以下 [ ]			
⑧側性	<input type="checkbox"/> 1. 右 <input type="checkbox"/> 2. 左 <input type="checkbox"/> 3. 両側 <input type="checkbox"/> 7. 側性なし <input type="checkbox"/> 9. 不明			
腫瘍の種類	⑨原発部位	大分類 [ ]		
		詳細分類 [ ]		
	⑩病理診断	組織型・性状 [ ]		
診断情報	⑪診断施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input type="checkbox"/> 2. 他施設診断		
	⑫治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設で紹介またはその後の経過不明 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8. その他		
	⑬診断根拠	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2. 転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3. 細胞診 <input type="checkbox"/> 4. 部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5. 臨床検査 <input type="checkbox"/> 6. 臨床診断 <input type="checkbox"/> 9. 不明		
	⑭診断日	<input type="checkbox"/> 0. 西暦 <input type="checkbox"/> 4. 平 <input type="checkbox"/> 5. 令 [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日		
	⑮発見経緯	<input type="checkbox"/> 1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input type="checkbox"/> 3. 他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4. 剖検発見 <input type="checkbox"/> 8. その他 <input type="checkbox"/> 9. 不明		
⑯治療経緯	<input type="checkbox"/> 400. 上皮内 <input type="checkbox"/> 410. 限局 <input type="checkbox"/> 420. 領域リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430. 隣接臓器浸潤			

# AFP高値肝細胞癌と診断

5.臨床検査 CT  
(内視鏡検査・画像診断など)  
6.臨床診断



他施設

紹介



自施設

⑩病理診断 → 肝細胞癌  
⑬診断根拠 → 4.部位特異的腫瘍マーカー

⑩病理診断 → 悪性腫瘍  
⑬診断根拠 → 4.部位特異的腫瘍マーカー

腫瘍の種類	⑨原発部位	大分類	肝、胆管、胆のう	
		詳細分類	肝 (肝内胆管を除く)	C22.0
	⑩病理診断	組織型・性状	肝細胞癌	8170/3
診断情報	⑪診断施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 他施設診断		
	⑫治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8. その他		
	⑬診断根拠	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2. 転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3. 細胞診 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5. 臨床検査 <input type="checkbox"/> 6. 臨床診断 <input type="checkbox"/> 9. 不明		



腫瘍の種類	⑨原発部位	大分類	肝、胆管、胆のう	
		詳細分類	肝 (肝内胆管を除く)	C22.0
	⑩病理診断	組織型・性状	悪性腫瘍	8000/3
診断情報	⑪診断施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 他施設診断		
	⑫治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8. その他		
	⑬診断根拠	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2. 転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3. 細胞診 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5. 臨床検査 <input type="checkbox"/> 6. 臨床診断 <input type="checkbox"/> 9. 不明		



## 5.臨床検査 CT (内視鏡検査・画像診断など)



⑩病理診断 → 肝細胞癌  
⑬診断根拠 → 5.臨床検査

瘍の 種類	⑨原発部位	大分類	肝、胆管、胆のう	
		詳細分類	肝（肝内胆管を除く）	C22.0
	⑩病理診断	組織型・性状	肝細胞癌	8170/3
診断 情報	⑪診断施設	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input type="checkbox"/> 2. 他施設診断		
	⑫治療施設	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8. その他		
	⑬診断根拠	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2. 転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3. 細胞診 <input type="checkbox"/> 4. 部位特異的腫瘍マーカー <input checked="" type="checkbox"/> 5. 臨床検査 <input type="checkbox"/> 6. 臨床診断 <input type="checkbox"/> 9. 不明		

※診断根拠が顕微鏡的（病理学的）診断でない時に用いてもよい形態コードがあります スライド20をご参照してください

# 診断根拠が顕微鏡的（病理学的）診断でない時に用いてよい形態コード

形態コード	組織診断名	形態コード	組織診断名
8000	新生物・腫瘍, NOS※	9350	頭蓋咽頭腫
8150	膵内分泌腫瘍	9380	グリオーマ
8151	インスリノーマ	9384/1	上皮下巨細胞性アストロサイトーマ
8152	腸グルカゴン腫瘍	9500	神経芽腫〈神経芽細胞腫〉
8153	ガストリノーマ	9510	網膜芽腫〈網膜芽細胞腫〉
8154	膵内分泌・外分泌細胞混合腫瘍	9530	髄膜腫, NOS
8160/3	胆管細胞癌※※	9531	髄膜皮性髄膜腫
8170	肝細胞癌	9532	線維性髄膜腫
8270	嫌色素性腺腫/癌(下垂体腫瘍)	9533	砂粒腫性髄膜腫
8271	プロラクチノーマ(下垂体腫瘍)	9534	血管腫性髄膜腫
8272	下垂体腺腫/癌, NOS	9535	血管芽腫性髄膜腫
8280	好酸性腺腫/癌(下垂体腫瘍)	9537	移行型髄膜腫
8281	好酸性・好塩基性混合腺腫/癌(下垂体腫瘍)	9538	明細胞髄膜腫/乳頭状髄膜腫
8720	黒色腫(眼又は皮膚に原発の場合)	9539	異型髄膜腫
8800	肉腫, NOS	9590	リンパ腫
8960	腎芽腫	9732	多発性骨髄腫
9100	絨毛癌	9761	ワルデンストレームマクログロブリン血症
9140	カポジ肉腫	9800	白血病, NOS

※ NOS Not Otherwise Specified 他に何らの説明や記載のないもの、詳細不明

※※ 日本独自ルール

引用・「全国がん登録 届出マニュアル2016 2019改訂版ダウンロード版」

## 5.臨床検査

内視鏡検査・画像診断・エコーも含む

※用いてもよい形態コードがあります スライド20をご参照してください

## 6.臨床診断

1～5の検査では「がん」と診断されなかった場合

## 9.不明

「がん」と診断された検査が不明な場合

- 本日のお話の目的
- 届出対象、及び診断日
- 診断根拠
- **側性**
- 備考欄



# 側性のある臓器

局在コード	部位名	局在コード	部位名	局在コード	部位名
C07.9	耳下腺	C40.0	上肢の長骨、肩甲骨及びその関節	C50.0～ C50.9	乳房
C08.0	顎下腺	C40.1	上肢の短骨及びその関節		
C08.1	舌下腺	C40.2	下肢の長骨及びその関節	C56.9	卵巢
C09.0	扁桃窩	C40.3	下肢の短骨	C57.0	卵管
C09.1	扁桃口蓋弓	C41.3	肋骨、胸骨、鎖骨及びその関節	C62.0～ C62.9	精巣
C09.8	扁桃の境界部病巣	C41.4	骨盤骨、仙骨、尾骨及びその関節		
C09.9	扁桃、NOS	C44.1	眼瞼	C63.0	精巣上体
C30.0	鼻腔（鼻、NOS C76.0をく）	C44.2	外耳道	C63.1	精索
C30.1	中耳	C44.3	その他の部位不明の顔面の皮膚	C64.9	腎、NOS
C31.0	上顎洞	C44.5	体幹の皮膚	C65.9	腎盂
C31.2	前頭洞	C44.6	上肢及び肩の皮膚	C66.9	尿管
C34.0	主気管支	C44.7	下肢及び股関節の皮膚	C69.0～ C69.9	眼及び付属器
C34.1～ C34.9	肺	C47.1	上肢及び肩の末梢神経及び自律神経系		
		C47.2	下肢及び股関節部の末梢神経及び自律神経系	C74.0～ C74.9	副腎
C38.4	胸膜、NOS	C49.1	上肢及び肩の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織	C75.4	頸動脈小体
		C49.2	下及び股関節部の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織		

# 側性コードの選択方法

原発部位は側性がある臓器ですか？	
肺・乳房・腎など	胃・大腸・甲状腺など
はい	いいえ

※ 側性のある臓器  
スライド23をご参照ください

原発部位が 右・左1つずつありますか？	
はい	いいえ

「3.両側」が使える臓器ですか？	
<p>「3.両側」が使える疾患は3つです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両側卵巣に発生した同じ組織形態の卵巣腫瘍</li> <li>両側腎臓に発生した腎芽腫（ウィルムス腫瘍）</li> <li>両側網膜に発生した網膜芽細胞腫</li> </ul>	
はい	いいえ

3.両側

1.右 2.左  
それぞれの届出を作成

1.右 2.左  
どちらか原発を作成

9.不明  
わからない場合  
正中は「9.不明」を選択

原発部位不明（C80.9）  
は「7.側性なし」を選択

7.側性なし



# 側性コードの選択方法

✗ の選択を選ぶとシステムエラーにかかります！

側性の**ある**臓器(「3.両側」が使える臓器を除く)は、1.右 2.左 9.不明のいずれかを選択

腫瘍の種類	⑧側性		<input type="checkbox"/> 1.右 <input type="checkbox"/> 2.左 <input checked="" type="checkbox"/> 3.両側 <input checked="" type="checkbox"/> 7.側性なし <input type="checkbox"/> 9.不明	
	⑨原発部位	大分類	肺・気管	
		詳細分類	主気管支	C34.0

側性の**ない**臓器は、7.側性なしを選択

腫瘍の種類	⑧側性		<input checked="" type="checkbox"/> 1.右 <input checked="" type="checkbox"/> 2.左 <input checked="" type="checkbox"/> 3.両側 <input type="checkbox"/> 7.側性なし <input checked="" type="checkbox"/> 9.不明	
	⑨原発部位	大分類	肝、胆管、胆のう	
		詳細分類	肝（肝内胆管を除く）	C22.0

- 本日のお話の目的
- 届出対象、及び診断日
- 診断根拠
- 側性
- **備考欄**

備考欄の記入、ご協力いただきありがとうございます

備考欄（情報）が充実していると大変助かります

記載内容	記載例
当該がんの詳細な部位	詳細部位：上顎歯肉
当該がんの詳細な病理診断名	病理診断：高分化管状腺癌 t u b 1
既往のがんに関すること	2015年に肺がんの既往歴あり
紹介元、紹介先の病院	紹介元：A病院、紹介先：B病院
診断時住所以外の住所	新住所：広島市〇〇1番23号
旧姓、通名	旧姓：比治山
死亡日、死亡施設に関すること	紹介先C病院より202X年〇月×日死亡と報告あり
原発部位不明	腹部に一塊の腫瘍あり          脳転移あり

## 届出の期間と時期

### 一定の期間内の届出の義務づけ

当該がんの診断年の翌年末まで（法律上の期限）

診断日（例）	届出期限
2021年 1月10日	2022年12月31日まで
2021年12月28日	2022年12月31日まで
2022年 1月 5日	2023年12月31日まで

### 届出の時期（広島県推奨時期）

病院等の別	2021年診断の推奨届出時期
がん診療連携拠点病院	2022年 9月末日まで
その他の院内がん登録実施病院等	2022年10月末日まで
上記以外	2022年11月末日まで

※広島県の推奨時期を外れると、遡り調査の対象になる可能性があります



ご清聴ありがとうございました

次は「遡り調査について」です